

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	食用担子菌における糖脂質の免疫活性機能評価
所属	人間発達学部 発達栄養学科
氏名	水野 淨子
【概要】 担子菌 (Basidiomycota) は子実体や胞子を形成する。その子実体(キノコ)は食用として馴染み深く市場に多数出回っているが、機能性研究が行われているものは限られている。一方、セラミド含有スフィンゴ糖脂質 (GSL) はNKT細胞の活性化、感染防御、自己免疫疾患との関連が指摘され、免疫薬理的有用物質として注目されている。キノコによる健康維持、増進を脂質生化学的・脂質免疫学的側面からキノコの第三次機能として解明することを目的として研究を進めている。	
キーワード	健康と食生活 / 免疫生化学 / 生物化学